



「自転車＝デザイン＋環境＝心地よい生活」の新しいかたちのイベント

Biketope2011 Koshigaya

「デザインのできること」をテーマに考えました。

東日本大震災・津波・原発の被災地へ自転車を送ります。

デザインで明日の生活がより心地良くなる為に何が出来るのか？

Biketope2011 実行委員会では、体感するデザインイベント 「自転車＝デザイン＋環境＝心地よい生活」を企画しました。

私達の生活と被災地での生活を共に取り戻す事が必要です。“復興”への一歩となる“脚”をより良い環境作りへの一歩として欲しくて、本イベントにおいても皆さんの協力をお願いします。より良い環境作りにはデザインの機能が重要と考えます。その事の一歩として、自転車が日常生活に心地よさを運びこむツールである事を取り上げます。

Biketope では、デザインに常に伴う「目的」の理解と共に、ものを「大切に使う」という意識を持つ事からエコロジーを体感します。この事は自転車を通して環境を考えるCO2削減への取り組みを促進させるイベントにもなります。物の価値を再確認するワークショップ、“物と人との関わり”を考える機会を創出します。楽しみながら一緒に人・モノと環境の関係性について考えるのに自転車は大変魅力のあるツールです。この事はデザインの本質である人との自然との関わり（環境問題）についても考える機会となります。個人で参加できるCO2削減のエコ活動を体感します。

今年は3月11日の東日本大震災・津波の被災地復興に役立つ事は出来ないかと考え、被災地で自転車を復興の“脚”として欲しく、定期的に自転車を送る事を準備します。

今回のイベント開催中でワークショップを始めいろいろと被災地へのアプローチを皆さんと一緒に準備します。まずはパンク修理から。被災地へのメッセージを自転車で送りましょう。

名称：Biketope2011 Koshigaya

場所：越谷レイクアウトレット

UR水辺の町作り館

期間：2011年5月7日（土）、8日（日）の 2日間

時間：10：00～16：00

主催：Biketope2011Koshigaya 実行委員会

後援：越谷市

協力：越谷警察署、UR都市機構、HaDesign Inc、シルク、バントデザイン研究所、ISAGI

チーム宮辺,PRI、パナソニックサイクルテック、武田産業、丹青社、VITAL FOOT PROJECT など

◆ 内容 ◆

試乗会：デンマーク、オランダやイギリスなどから来た様々な自転車や日本のユニークな自転車、その他特殊な機能を持った自転車に試乗が可能！

CO2 削減の一役に個人参加する意識を高めます。

多くのクリエイターが参加して新しい自転車を作り出しています。

震災被災地へのギフトとしての物が多くあります。

皆さんも是非試乗して、それらの方達への支援をお願いします。

ワークショップ：自分の自転車をカスタマイズして、デコレーションする。

My Bicycle意識を高める。もっと楽しく自転車に乗れる。

自転車のメンテナンスを知る。自分で出来る簡単な事を知ります。

レイク周遊：生まれ変わった放置自転車でサイクリングします。

普段乗れない自転車に試乗します。

Biketope の発着場所のサインとしての放置自転車を使ったアーティストによるオブジェが点在し、本イベントを表現する。

講習会：会場内では警察署による自転車講習会や自転車愛好家による講演会。

会場内では自転車関連グッズの販売もします。

・ **放置自転車：**オブジェ・レンタルサイクル・ユニークバイクとして活用。本イベントの主役被災地へイベント終了後送付されます。

